

教育ボランティアニュース No.7

～教育ボランティアについての理解を深めよう！！～

2025年4月22日 教育ボランティア学生運営委員会

教育ボランティアスタートセミナー・・・4月9日（水）開催

4月9日に令和7年度教育ボランティアスタートセミナーが開催されました。今回のセミナーでは、教育ボランティア学生運営委員長・委員代表のお話やグループ協議、甲斐市立敷島小学校校長の久保田勲先生からのお話がありました。教育ボランティア活動を初めて行う学生にとって、疑問や不安を解消し、今後の活動への参加と意欲が高まる機会となったと思います。本ニュースでは、本会の様子についてご報告いたします。

初めに、教育ボランティア学生運営委員長からは、教育ボランティアの経験から「子どもと関わる機会の大切さ」についてお話がありました。委員代表からは、教育ボランティアの具体的な活動内容ややりがいを感じさせてくれるお話がありました。教育ボランティアでは、児童生徒の実態を知ることができ、教員になったときのイメージを持つことができる貴重な機会となったと説明してくれました。

次に、「教育ボランティアの疑問を解消しよう」をテーマにして、各コースの先輩を交えたグループ協議が行われました。具体的な活動内容、身だしなみ等の活動に関する疑問や授業・アルバイトとの両立等の不安を共有し合い、先輩たちからのアドバイスをもらえる時間となりました。これから教育ボランティアを始める学生にとって、疑問や不安を解消する討議となり、これからの活動にわくわくする場になったと思います。

最後に、甲斐市立敷島小学校校長の久保田勲先生からのお話がありました。教育ボランティアのメリットとして、自分の希望する校種だけでなく、異校種の現場を知る機会となり、自分の将来の仕事に生かすことができると教えていただきました。また、受け入れ先からの視点として、「ぜひ教員になってもらいたい」という温かい思いで受け入れていること、教育ボランティアの経験を「自分の糧」にしてほしいとお話がありました。貴重なお話を聞くことができ、これからの教育ボランティアの見通しをもつことができました。



本会では、1年生をはじめとした46名の学生が参加し、充実した時間となりました。本学期も多くの学生が教育ボランティアに参加していただけると嬉しいです。

【参加者のアンケートより】

- ・ボランティアという立場が、自分たちからしたらボランティアでも、子供達からしたら1人の先生だということを知った。また、子供が大好きだけど子供と関わる機会がなくて困っていたので、絶対に教育ボランティアに参加したいと思った。
- ・実際にボランティアに参加している先輩方の話を聞くことが出来てとても参考になった。
- ・実際の教育現場の方のお話は自分たち大学生とはまた違った視点でためになった。
- ・自分が目指している校種以外にも参加することの大切さを知ることができました。教員になるまでに身につけられるスキルをたくさん得られるよう取り組んでいきたいです。